

薬物乱用防止講話を実施しました

(2017. 6. 23)

岐阜中警察署生活安全課少年係 少年補導員の澤幸子様にご講師として来校していただき、薬物乱用防止講話を実施しました。薬物に関するビデオを視聴し、高校生が高い関心を持つお話を聞くことができました。

生徒の感想

*薬物はもともと自分には関係のないもので、薬物について何も知る必要がないと思っていたけれど、意外に身近にあるものだと知りびっくりしました。自分は誘われても「親に相談する」と言って、しっかり断れるようにしたいです。(1年女子)

*自分にはまったく関係ないと思っていたが、先輩などに薬を勧められたらその場で断る自信がないので、そういったときにしっかり断れるように、日頃から危険性を理解して日々の生活を送っていききたい。(2年男子)

*私は毎年薬物の話を「自分には一生関わることのないことだ」と思いながら聞いていました。しかし、岐阜県で高校生が薬物を使用して警察のお世話になっていることを知り、他人事ではないと思うことができました。自分が薬物に近づかなければ問題ないと思いましたが、自分の知り合いから勧誘されてしまう可能性があることを知ったので、きっぱり断れるようシミュレーションをしたいと思います。危険だと思ったらすぐ離れ、自分から歩み寄らないよう、自分の理想としている人生を送れるようにしていきたいです。(2年女子)



【講話中の様子】